

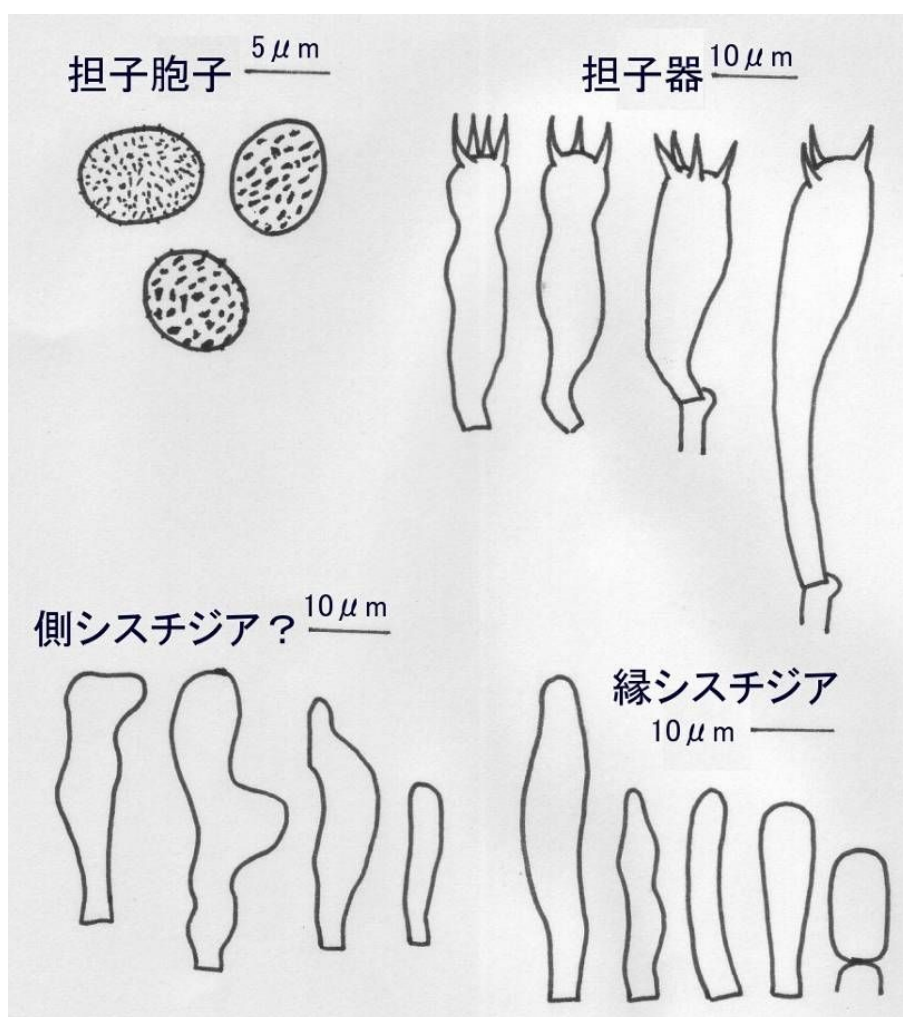
No. 0006

コシノウスムラサキフウセンタケ？

Cortinarius subalboviolaceus Hongo

var. *niigatensis* Miyauchi & N. Miyauchi ?





●傘は径 1.0-3.0cm, 半球形から中高の平らのち平開, 縁部は反り返る;表面は幼時綿毛状, 条線はなく, 湿時弱粘性で乾くと光沢があり, 幼時は淡紫色~藤色で中心部は淡黄褐色, 成長すると細かい繊維状~鱗片状となり, 全体が淡くなるが中心部では淡黄褐色を残す.

●肉は厚さ 0.3-0.5cm, 幼時は傘・柄ともに白色, 成長すると茶色を帯び, 変色性はなく, 質はわりと丈夫, 特別な匂いや味はない.

●柄は 2-3×0.3-0.6cm, 棍棒形~上下同径, 中心性, やや中実~中空;表面は繊維状, クモの巣膜があり, 傘と同色かやや淡く, 基部は白色~淡黄褐色, 乾けば光沢がある.

- ヒダは疎, 上生～湾入上生, 幅 0.1-0.3cm, 幼時は白色で成長すると淡黄土色, 全縁.
- 孢子紋は未採取.
- 孢子は類球形～広楕円形, 大きさ $6.5-7.5 \times 5.5-6.0 \mu\text{m}$, 表面は微いぼがある.
- 担子器は棍棒形～先が球状に膨らむ棍棒形, 大きさ $27-50 \times 6.0-7.5 \mu\text{m}$, 3～4 孢子性, 基部にクランプがある.
- 縁シスチジアは円柱形～棍棒形でときに先端が細く, 大きさ $13-38 \times 3.0-6.5 \mu\text{m}$, 表面は平滑. ●側シスチジア?は棍棒形や途中で分枝しているような形で, 大きさ $19-35 \times 3.0-7.5 \mu\text{m}$, 紡錘形のものもあり未熟な担子器かもしれない.
- 子実層托実質は並列型, 非アミロイド.

採集日 2006年7月3日
採集場所 神戸市須磨区
採集環境 コナラ樹下
採集者 幸徳伸也
同定者 幸徳伸也
標本番号 なし